

班別地域資源マップ

作成：Aグループ4班

1【又猪野地区集会所と山陰百姓逃散一揆】



又猪野地区集会所の横に山陰百姓逃散一揆の碑があった。集会所は皿や座布団が見られ、今でも使用されていると思われる。碑が置かれた背景として、江戸時代(元禄)の逃散事件がある。今から約300年前に生きる権利を得るために東郷町の百姓たちが逃げてきた。しかし、高鍋藩により11ヶ月留置の末79人の死者が出ておりこのときの霊を供養するため平成12年に碑が建てられた

4【菅原神社】

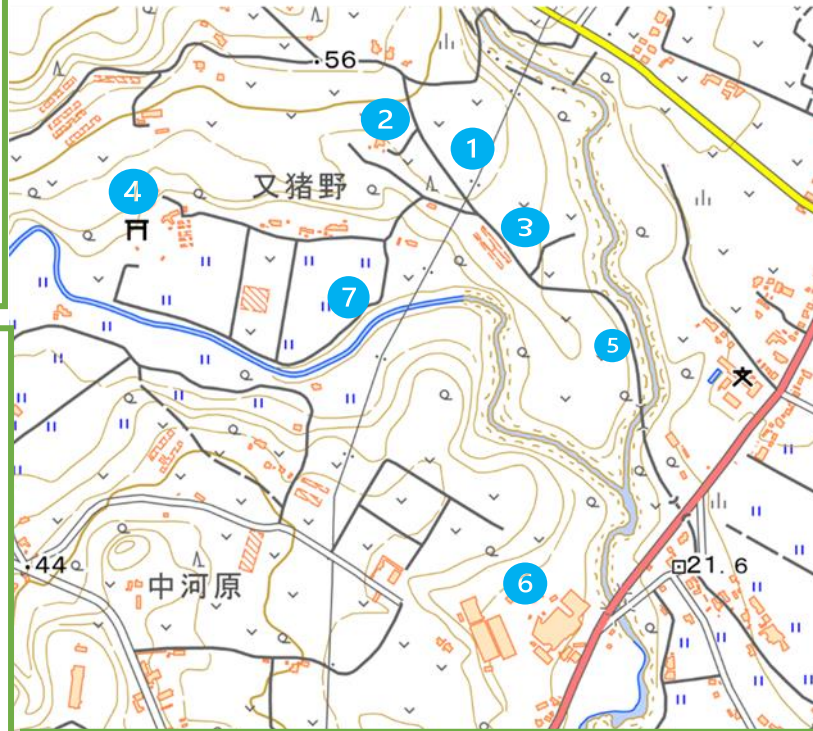


祭神・菅原道真を祀るこの神社は特に境内らしきものは見られず、周りは草が生い茂っており本殿内を見ても人の手があまり行き届いていないことがわかる。

『都農町史』には「夏祭は土用丑の日に行われ講番として2人が勤め、冬祭には婦人会がオコシ(菓子)を売り、益金で布団を各家庭に分けたことがあり、神楽は1年おきで宿元で舞う。」と記載されており町の中心になるような場所だったことが伺える。現在、あまり整備されていない細い道を通らなければ行けないため注意が必要である。

2【都農町に住む70代女性】(インタビュー有)

東都農町の町政には、常に満足していると述べていたが、一方で近年の少子高齢化や人口流出の増加により子供を見ることが少なくなったことや地域間の繋がりが薄くなったことを述べていた。



6【榊原田加工センター】

鉄筋工事・土木工事請負業や、土木・建築工事用の鉄筋の加工などを行っている会社である。加工センターの裏にはツイてる池・ツイてる木・ツイてる石碑があり、池には推定年齢200歳のツイてる鯉がおり、訪れた人の中には「宝くじが当たった」「結婚が決まった」「出世できた」など運気があがったという人たちがいるとHPで紹介されている。このことから観光資源の一つになると考える。

3【養鶏場】(インタビュー有)



肉のみの出荷を行っており、約37,000匹を飼育中である。鶏の種類は「チャンキー」でホワイトファームに出荷している。出荷前の死鶏の回収や体面で苦労が多く、都農町に対しては自然が多いところは良いがこれといって行くところがないと仰っていた。

5【紫陽花】

アジサイ科アジサイ属の落葉低木の1種。デルフィニジンに補助色素とアルミニウムのイオンが加わることで、青色になる。土壌のpHによって花の色が変わる。景観の良さは観光資源になると考え、紫陽花の土壌を調整することでカラフルな紫陽花を育て、紫陽花ロードを作る案が思い浮かんだ。

7【心見川】



解析面は意外に広く上流から平山・内野々・舟川・長野の肥沃な耕地をつくるとともに、心見・黒萩でさらに開けてくる。また、河口部は砂丘の内側に湿地帯をつくっている。気持ちいい風と川の音と小鳥のさえずりに癒やされる自然スポットとして活用できるように川へ降りれる道づくりを提案したい。

1 【キウイ農園】



世界大手のキウイフルーツ販売会社であるゼスプリ社が付与した栽培権利に基づく生産事業を行っているニューガイアグリ株式会社の大規模ファームの一つである。1ha当り10トンの生産を目標に作業を進めており、都農町役場等との打合せを行い、収穫時に向けた大型車の侵入経路の道路拡張工事も進行中だそうだ。また、地元の保育園や企業にも収穫作業の体験の場を提供する計画をしている。農園周辺住民は収穫を楽しみにする一方で、台風の影響を心配しており、関連して上記左側の画像の右側にある森林が防風林として機能するのが気になる。企業の参入による人口の増加の可能性を考えた。

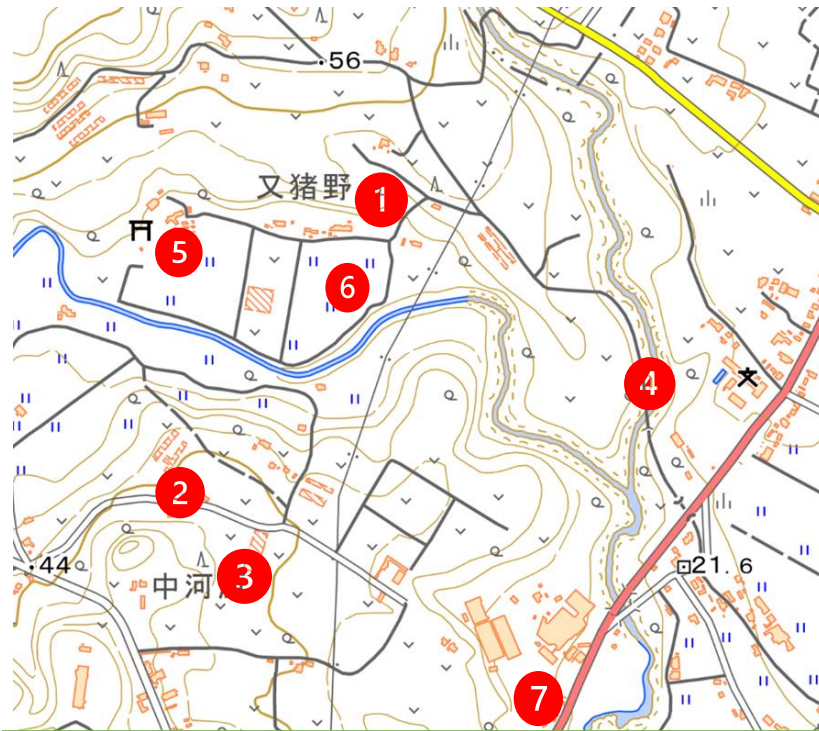
6 【鉄塔】

都農分岐線増強のための鉄塔建設工事が行われていた。数か所で工事が行われているが、緑豊かな景観を持つ都農には少々馴染んでいないように感じる。



3 【廃墟】

かなり前に閉鎖されたと思われる倉庫や養鶏場が廃墟化しており、景観悪化の要素となっていた。こうした場所が原因となり、さらなるポイ捨て等がなされないように廃墟の取り壊しや、活用を検討すべきであると考えた。



4 【謎エリア】



紫陽花に囲まれた畑の中心に、花が花瓶にさされた状態で置かれており、まるで何かを祀っているように思われた。初めは紫陽花畑かと考えたが、花期であるのにも関わらず栽培はしていないと思われる。現在もどんな用途の土地なのかは私たちの班では解明できていない。

5 【いちご農家(インタビューあり)】

毎年約2万個のいちごの苗を育て、そのうちの状態の良い約1万8000個を時期が来たら近くのハウスに移して栽培している。農家さんは都農出身ではなく、栽培に関して都農へのこだわりはあまりないそうだ。「なぜ都農の土地を選んだのか」と質問したところ、「都農の土地が売りに出たため、購入した」と話してくださり、土地の価格や近くにある綺麗な水源などの要因があったのではないかと考えらる。



2 【ゴミ問題】

車の不法投棄があったがその他に粗大ゴミが森や道脇に投棄されているのはほとんど見かけなかった。また、たばこの吸い殻のポイ捨てが集中している場所があった。付近に建物があるわけではなく、おそらく車からのポイ捨て行為を繰り返す人がいると思われる。近くには側溝があり、雨等で吸い殻が下水道や河川に流れさらなる環境悪化につながる事が懸念される。今後はまちの活性化と絡めたゴミ拾い活動や注意喚起が必要であると考えられる。



7 【GRILL POPEYE】



この店では都農町出身の店主に話を伺うことができた。先代からの味を大切にしており、都農町で採れた食材を使用していると述べていた。

(参考文献)

- ・ shogo00000.ninja-web.net
- ・ 都農町史
- ・ harada-t.com